

波野で国際ワークキャンプ

波野で10年前から取り組まれている国際ワークキャンプの受け入れが本年も8月3日から17日まで行われ、訪れたロシア、台湾など6ヶ国13人のメンバーは、農作業・祭り準備清掃等の作業・神楽での文化交流・地元の子どもたちとの交流・ホームステイなど様々な体験をしました。波野の方々の温かい受け入れに日本の良さを全身で感じ喜ぶメンバーたちが印象的でした。



8月3日市長に挨拶に訪れたメンバー



そば種まき体験

8月7日、波野駅近くの畑(約12a)で、波野小学校4年生12人と国際ワークキャンプのメンバーが波野特産のそばの種まき体験をしました。

波野小学校では、毎年4年生が波野特産であるそばの成長過程などを勉強しており、今年は国際ワークキャンプと共同で実施したものです。

同日、そば生産組合が借用している畑(約30a)で、波野中学校1年生14人も総合学習(農業教育・体験活動推進事業)の一環としてそばの種まきをしました。



鍬で畝目をたてる中学生

健康を守る婦人の会会長表彰

日赤の複十字シール運動募金活動を通じた結核予防等の取り組みで知られる熊本県健康を守る婦人の会の平成19年度会長表彰があり、西岡ヤス子さん(元黒川)が受賞されました。西岡さんは、会員として11年余り活動し、住民健診推進に力を入れ住民の健康づくりや環境保全活動に献身的に取り組まれてきました。特に減少していた会員の増強を図るなど組織の構築にも努められました。現在も健康づくりにがんばっておられます。



受賞された西岡さん

絵本文庫を子育て支援センターへ寄贈



株式会社フォーリーフジャパン(栄養補助食品製造販売会社・本社大阪市)から、一の宮子育て支援センターと阿蘇市子育て支援センターに「フォーリーフ文庫」としてそれぞれに絵本約200冊をいただきました。同社は、全国の子育て支援センターに親子のコミュニケーションを図るため絵本の寄贈を行う他、様々な社会貢献活動を各地で展開しています。

寄贈式は会社関係者やセンター利用者などが参加し行われ、早速絵本を手にした子どもたちは大変うれしそうでした。